

## 島根半島十六島湾で確認されたクラゲ類の種数と展示の可能性

田久和 剛史（島根県立宍道湖自然館ゴビウス）

島根県立宍道湖自然館では、これまで中海や境水道、日本海で採集したミズクラゲやアカクラゲ、ウリクラゲなどの展示を行ってきた。ただし、いつ、どこで、どのようなクラゲが出現するのかについては、詳細に把握できておらず、また、これら以外にも自然館で展示できるクラゲが出現しているのかについても不明である。

そこで、2021年2月下旬から同年10月下旬にかけての毎月上、中、下旬に、島根半島十六島湾の2地点において、定点調査を行った。

調査は、まず港内を歩きながら、目視で確認したクラゲ類を柄付の柄杓を用いてすくいとって採集した。また、目視での確認が難しいクラゲ類については、柄付の観賞魚用小型網を用いてすくい取る方法で採集した。さらに、付着性のクラゲ類については、たも網を用いて、岸边および岸壁に生える海藻類や水中下のロープの表面をすくい取る方法で採集した。採集したクラゲ類は、図鑑等を用いて種同定を行った。

本調査において確認されたクラゲ類の種数と、自然館で展示が可能と思われたクラゲ類および収集方法や見せ方などの工夫を行えば展示の可能性も考えられたクラゲ類について発表する。



十六島湾で採集されたカブトクラゲ